

自己点検及び自己評価表

京進ランゲージアカデミー 京都中央校

5:達成できている 4:かなり達成できている 3:ふつうである 2:やや不足している 1:改善の必要がある

I、教育理念・目的等

評価欄

1、	理念・目的・育成・人材像は明確に定められているか	5
2、	学校の特色は明確になっているか	5
3、	学校の将来構想を具体的に抱いているか	5
4、	理念に基づいて教育が行われているか	5

<現状・具体的な取り組み>

「学生の将来につながる日本語教育」を掲げ、「対話」を重視するということを明確に打ち出し、日本社会とつながるプログラムを実施している。目指す方向を組織プロフィールで明確にし、研修会などを定期的開催することで、職員が同じ思いを共有できるようにしている。

II、学校運営

評価欄

1、	運営方針は明確に定められているか	5
2、	事業計画は的確に定められているか	5
3、	運営組織や意思決定機能がしっかりと構築され、効率的なものになっているか	5
4、	人事や賃金での処遇・職場処遇の改善に関する制度は正しく整備されているか	5
5、	情報システム化等による業務の効率化が十分に図られているか	5
6、	学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が正しく整備されているか	5
7、	危機管理体制は的確に整備されているか	5
8、	施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように整備されているか	5

<現状・具体的な取り組み>

本校の運営方針は、明確に定められており、それに基づいて事業計画も、短期的なものだけではなく、中長期的なビジョンでも策定されている。グループ統一の安全マニュアルで、危機管理、安全に関する方向性が定められており、年2回の「安全の日の取り組み」などで、それらを全職員で確認している。

Ⅲ、教職員

評価欄

1、	教育理念・目的が教職員間で十分に共有されているか	5
2、	教育の質の向上をさせるための取り組みが十分に確立されているか	5
3、	教職員評価を的確に行っているか	5

<現状・具体的な取り組み>

教育理念・目的並びに授業レベルの向上を目的として、3か月に1度、非常勤講師も含めた教務会議・研修を実施するとともに、事例報告会なども行い、個々のスキルアップを図ることで、教育の質の向上に努めている。

Ⅳ、教育活動

評価欄

1、	カリキュラムは体系的に編成されているか	5
----	---------------------	---

<現状・具体的な取り組み>

JLPTやCEFRを指標にレベル設定を行いカリキュラムを体系的に編成している。また、初中級以降のレベルでは、日本語レベル別での授業と、目的別での授業を行い、学習したことが自分の将来につながっていることを実感できるようにしている。

Ⅴ、学生支援

評価欄

1、	進学・試験指導に関する体制は十分に整備され、有効に機能しているか	5
2、	学生相談に関する体制が適切に整備され、有効に機能しているか	5
3、	学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを行う十分な体制があり、有効に機能しているか	5
4、	学生寮等、学生の生活環境への支援は適切に行われているか	5
5、	保護者と適切に連携しているか	5
6、	卒業生への適切な支援体制はあるか	5
7、	入国・在留関係の指導と支援が適切に行われているか	5
8、	日本を理解するための支援が適切に行われているか	5

<現状・具体的な取り組み>

入学時のオリエンテーション、定期的な生活指導、早期の進学ガイダンス、個別カウンセリングなどを実施している。生活面、健康面、学習面で問題のある学生に対しては、個別での面談などを実施するとともに必要に応じて、保護者へ連絡し、連携して学生サポート体制を整えている。

VI、在留管理と生活指導

評価欄

1、	入国・在留管理の指導と支援が適切に行われているか	5
2、	日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	5
3、	我が国の法令を遵守させる指導を適切に行っているか	5
4、	常に最新の学生情報を適切に把握しているか	5

<現状・具体的な取り組み>

入学時のオリエンテーション、学期開始時、資格更新準備時などに、在留管理、日本社会理解、法令順守などの指導や支援を行っている。学生の情報については、学生シートを作成し、定期的に聞き取りの実施をしている。

VII、学生の募集と受け入れ

評価欄

1、	学生の受け入れ方針は明確に定められているか	5
2、	学生募集活動は、適正に行われているか	5
3、	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5
4、	入学選考は、適切かつ公平な基準に基づき行われているか	5
5、	適正な定員設定および在籍者数になっているか	5

<現状・具体的な取り組み>

事業計画並びに募集会議での取り決めにそって、募集活動は適正に行われ、入学選考も適切に行われている。

VIII、財務

評価欄

1、	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5
2、	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
3、	財務について会計監査が適正に行われているか	5

<現状・具体的な取り組み>

予算・収支計画については単年度の者だけではなく、中長期的なものも作成し、必要に応じて修正を加えている。会計監査は年1回実施されている。

IX、法令等の遵守

評価欄

1、	法令、設置基準等の遵守と適切な運営がなされているか	5
2、	個人情報に関し、その保護のための対策が十分に取られているか	5
3、	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
4、	自己点検・自己評価結果を公開しているか	5
5、	関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	5

<現状・具体的な取り組み>

日本語教育機関の告示基準に基づき、基準の順守と適正な運営がされている。

X、社会貢献

評価欄

1、	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4
2、	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4

<現状・具体的な取り組み>

年に1回、学校祭を開催し、地域の方に学校活動への理解、異文化理解などをしてもらっている。地域や団体からのボランティアや活動へのお誘いがあれば情報は提供している。

XI、教育成果

1、 成果の判定

評価欄

1)	進路および卒業・修了の判定が適切に行われているか	5
2)	EJU、JLPT等の外部試験結果を把握し、適切に管理されているか	5

2、卒業生の状況把握

評価欄

1)	卒業生の状況を把握するための取り組みを行っているか	4
2)	卒業後の進路を把握しているか	4
3)	進学先、就職先等での状況や、卒業生の社会的評価を把握しているか	4

<現状・具体的な取り組み>

卒業・修了の判定については、出席率の基準を設けている。EJU・JLPT等については、団体申し込みを行い、試験結果を把握し、進路指導に役立てている。個人申し込みをした学生についても、結果の聞き取りをしている。
卒業直後の進路については、帰国も含め、確実に把握するように努めているが、それ以後については、学生からの情報提供を待つのみとなっている。また、卒業生の状況や評価については、進学先、就職先から情報提供があれば、職員で情報共有するが、学校側から積極的に情報を集めていない。